



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 東レ株式会社  
コード番号 3402 URL [www.toray.co.jp](http://www.toray.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日覺 昭廣  
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 松村 俊紀 TEL 03-3245-5178  
四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期 第2四半期	1,261,794	18.7	54,421	△22.5	73,797	7.0	84,976	4.6	62,991	△5.1	59,112	△3.0
2022年3月期 第2四半期	1,062,978	24.2	70,176	105.8	68,962	—	81,205	862.3	66,397	—	60,924	—

(注) 四半期包括利益合計額 2023年3月期第2四半期 177,777百万円(121.1%) 2022年3月期第2四半期 80,406百万円(444.4%)

事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	36	92	36	86
2022年3月期第2四半期	38	06	37	51

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2023年3月期第2四半期	3,320,930		1,660,119		1,561,961		47.0	
2022年3月期	3,043,881		1,499,649		1,405,591		46.2	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00	—
2023年3月期	—	9.00	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,600,000	16.7	130,000	△1.6	95,000	12.8	59	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	1,631,481,403株	2022年3月期	1,631,481,403株
2023年3月期2Q	30,480,095株	2022年3月期	30,761,629株
2023年3月期2Q	1,600,907,605株	2022年3月期2Q	1,600,592,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況(2) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況 .....	2
(2) 今後の見通し .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況

(当四半期の経営成績)

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1兆2,618億円	18.7%
事業利益	544億円	△22.5%
営業利益	738億円	7.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	591億円	△3.0%

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～9月30日)の世界経済は、ウクライナ情勢に伴う資源価格の高止まりや中国のゼロコロナ政策によるロックダウン、及び欧米を中心としたインフレの進行が個人消費に影響したこと等により、成長が鈍化しました。国内経済については、コロナ禍からの回復が続いていますが、資源高の進行が、円急落と相まって同回復に対して下押し圧力となりました。

このような事業環境の中で、当社グループは2020年5月より、「持続的かつ健全な成長」を目指し、「成長分野でのグローバルな拡大」、「競争力強化」、「経営基盤強化」を基本戦略とした新たな中期経営課題“プロジェクトAP-G 2022”を実行しています。当四半期は、原燃料価格の変動と、価格転嫁とのタイムラグが損益に影響を及ぼしました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前年同期比18.7%増の1兆2,618億円、事業利益(注1)は同22.5%減の544億円となりました。営業利益は同7.0%増の738億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同3.0%減の591億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

## 【繊維事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	5,090億円	26.8%
事業利益	239億円	△1.8%

衣料用途は、コロナ禍からの回復が見られましたが、衛材用途は需給バランス悪化の影響で低調に推移しました。産業用途は、自動車生産台数の回復遅れにより需要が伸び悩みました。また、ほぼ全ての用途・地域において、原燃料価格及び運輸費高騰の影響を受けました。

以上の結果、繊維事業全体では、売上収益は前年同期比26.8%増の5,090億円、事業利益は同1.8%減の239億円となりました。

## 【機能化成品事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	4,733億円	6.5%
事業利益	251億円	△52.0%

機能化成品事業は原燃料価格高騰の影響を受けました。

樹脂事業は、国内自動車生産の回復の遅れや中国市場の需要減少の影響により低調となりました。ケミカル事業は、ファインケミカルが好調に推移しました。フィルム事業は、ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連の在庫調整の影響を受けました。電子情報材料事業は、有機EL関連材料、回路材料の需要が減少しました。

以上の結果、機能化成品事業全体では、売上収益は前年同期比6.5%増の4,733億円、事業利益は同52.0%減の251億円となりました。

#### 【炭素繊維複合材料事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1,400億円	41.5%
事業利益	56億円	—

原燃料価格上昇の影響、及び航空宇宙用途で民間旅客機のビルドレート低調の影響を受けましたが、一般産業用途において風力発電翼用途や圧力容器用途が拡大したほか、スポーツ用途が伸長しました。また、価格転嫁を推進しました。

以上の結果、炭素繊維複合材料事業全体では、売上収益は前年同期比41.5%増の1,400億円、事業利益は同92億円増の56億円となりました。

#### 【環境・エンジニアリング事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1,061億円	23.5%
事業利益	83億円	35.8%

水処理事業は、逆浸透膜などの需要が堅調に推移し、新たに稼働を開始した設備が業績に寄与しました。

国内子会社では、エンジニアリング子会社でリチウムイオン二次電池関連装置の出荷が増加しました。

以上の結果、環境・エンジニアリング事業全体では、売上収益は前年同期比23.5%増の1,061億円、事業利益は同35.8%増の83億円となりました。

#### 【ライフサイエンス事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	259億円	3.1%
事業利益	3億円	△69.0%

医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>(注2)において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けました。

医療機器事業は、血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移しましたが、原燃料価格高騰の影響を受けました。

以上の結果、ライフサイエンス事業全体では、売上収益は前年同期比3.1%増の259億円、事業利益は同8億円減の3億円となりました。

(注) 1. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

2. レミッチ<sup>®</sup>は、鳥居薬品㈱の登録商標です。

#### (財政状態の概況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産・負債ともに、円安による海外子会社の円換算額増加の影響がありました。

資産は、営業債権及びその他の債権や棚卸資産が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ2,770億円増加し3兆3,209億円となりました。

負債は、社債及び借入金が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ1,166億円増加し1兆6,608億円となりました。

資本は、利益剰余金やその他の資本の構成要素の増加を主因に、前連結会計年度末に比べ1,605億円増加し1兆6,601億円となり、このうち親会社の所有者に帰属する持分は1兆5,620億円となりました。当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇し47.0%となりました。

## (2) 今後の見通し

内外経済は、原燃料価格の高騰によるインフレ圧力の増大や欧米を中心とする利上げ等により年内は減速していくと見られます。また、中国のゼロコロナ政策の継続や不動産市場の混乱が世界経済を下押しする可能性があるほか、部材や人手等の不足による供給制約、ウクライナ情勢の長期化、金融市場の混乱などが懸念材料として挙げられます。

このような状況の下、当社グループは、中期経営課題“プロジェクト AP-G 2022”の基本戦略を推進し、不確実性に備えた事業運営を実行してまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向及び事業環境等を踏まえ、売上収益を2兆6,000億円に、事業利益は1,300億円に、親会社の所有者に帰属する当期利益は950億円に変更いたしました。10月以降の為替レートは135円/ドルを想定しています。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	229,301	226,349
営業債権及びその他の債権	576,867	637,920
棚卸資産	469,316	555,335
その他の金融資産	7,826	17,324
その他の流動資産	58,209	69,344
売却目的で保有する資産	31,717	1,693
流動資産合計	1,373,236	1,507,965
非流動資産		
有形固定資産	990,733	1,023,646
使用権資産	47,753	53,540
のれん	88,122	102,978
無形資産	80,713	90,888
持分法で会計処理されている投資	183,454	250,405
その他の金融資産	214,990	223,928
繰延税金資産	22,286	24,785
退職給付に係る資産	28,384	28,835
その他の非流動資産	14,210	13,960
非流動資産合計	1,670,645	1,812,965
資産合計	3,043,881	3,320,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	327,454	348,664
社債及び借入金	279,404	345,874
リース負債	10,591	10,735
その他の金融負債	12,815	16,746
未払法人所得税	15,870	14,092
その他の流動負債	91,975	98,144
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	2,942	—
流動負債合計	741,051	834,255
非流動負債		
社債及び借入金	618,637	626,070
リース負債	27,026	31,917
その他の金融負債	5,165	5,517
繰延税金負債	42,667	50,440
退職給付に係る負債	98,381	98,307
その他の非流動負債	11,305	14,305
非流動負債合計	803,181	826,556
負債合計	1,544,232	1,660,811
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	120,698	120,727
利益剰余金	978,980	1,027,055
自己株式	△19,813	△19,632
その他の資本の構成要素	177,853	285,938
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,405,591	1,561,961
非支配持分	94,058	98,158
資本合計	1,499,649	1,660,119
負債及び資本合計	3,043,881	3,320,930

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	1,062,978	1,261,794
売上原価	△845,432	△1,046,887
売上総利益	217,546	214,907
販売費及び一般管理費	△147,487	△164,162
その他の収益	2,185	27,102
その他の費用	△3,282	△4,050
営業利益	68,962	73,797
金融収益	3,547	6,216
金融費用	△3,025	△4,580
持分法による投資利益	11,721	9,543
税引前四半期利益	81,205	84,976
法人所得税費用	△14,808	△21,985
四半期利益	66,397	62,991
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	60,924	59,112
非支配持分	5,473	3,879
四半期利益	66,397	62,991
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	38.06	36.92
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.51	36.86

要約四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	66,397	62,991
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	7,462	△4,248
確定給付制度の再測定	3,000	977
持分法によるその他の包括利益	82	11
項目合計	10,544	△3,260
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	475	821
ヘッジコスト	166	△329
在外営業活動体の換算差額	2,824	117,553
持分法によるその他の包括利益	—	1
項目合計	3,465	118,046
その他の包括利益合計	14,009	114,786
四半期包括利益	80,406	177,777
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	74,798	170,343
非支配持分	5,608	7,434
四半期包括利益	80,406	177,777

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2021年4月1日残高	147,873	120,493	899,994	△19,985
四半期利益	—	—	60,924	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	60,924	—
新株予約権の行使	—	△136	—	136
株式報酬取引	—	188	—	—
配当金	—	—	△7,206	—
支配継続子会社に対する持 分変動	—	△6	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	6,965	—
その他	—	△1	—	△0
所有者との取引額等合計	—	45	△241	136
2021年9月30日残高	147,873	120,538	960,677	△19,849

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の資本の構成要素						親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計			
2021年4月1日残高	80,082	△684	399	9,679	—	89,476	1,237,851	84,424	1,322,275
四半期利益	—	—	—	—	—	—	60,924	5,473	66,397
その他の包括利益	7,368	475	166	2,735	3,130	13,874	13,874	135	14,009
四半期包括利益	7,368	475	166	2,735	3,130	13,874	74,798	5,608	80,406
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	0	—	0
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	188	—	188
配当金	—	—	—	—	—	—	△7,206	△2,478	△9,684
支配継続子会社に対する持 分変動	—	—	—	—	—	—	△6	21	15
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△3,835	—	—	—	△3,130	△6,965	—	—	—
その他	—	△177	—	—	—	△177	△178	△718	△896
所有者との取引額等合計	△3,835	△177	—	—	△3,130	△7,142	△7,202	△3,175	△10,377
2021年9月30日残高	83,615	△386	565	12,414	—	96,208	1,305,447	86,857	1,392,304

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2022年4月1日残高	147,873	120,698	978,980	△19,813
四半期利益	—	—	59,112	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	59,112	—
新株予約権の行使	—	△181	—	181
株式報酬取引	—	200	—	—
配当金	—	—	△12,812	—
支配継続子会社に対する持 分変動	—	10	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	1,775	—
その他	—	—	—	△0
所有者との取引額等合計	—	29	△11,037	181
2022年9月30日残高	147,873	120,727	1,027,055	△19,632

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の資本の構成要素						親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計				
2022年4月1日残高	74,648	△509	328	103,386	—	177,853	1,405,591	94,058	1,499,649
四半期利益	—	—	—	—	—	—	59,112	3,879	62,991
その他の包括利益	△4,168	823	△329	113,950	955	111,231	111,231	3,555	114,786
四半期包括利益	△4,168	823	△329	113,950	955	111,231	170,343	7,434	177,777
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	0	—	0
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	200	—	200
配当金	—	—	—	—	—	—	△12,812	△3,541	△16,353
支配継続子会社に対する持 分変動	—	—	—	—	—	—	10	△33	△23
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△820	—	—	—	△955	△1,775	—	—	—
その他	—	△1,371	—	—	—	△1,371	△1,371	240	△1,131
所有者との取引額等合計	△820	△1,371	—	—	△955	△3,146	△13,973	△3,334	△17,307
2022年9月30日残高	69,660	△1,057	△1	217,336	—	285,938	1,561,961	98,158	1,660,119

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	81,205	84,976
減価償却費及び償却費	59,512	63,498
減損損失(又は戻入れ)	279	1,017
持分法による投資損益	△11,721	△9,543
金融収益及び金融費用	△957	△1,684
子会社の支配喪失に伴う損益	—	△25,066
営業債権及びその他の債権の増減額	△2,434	△39,369
棚卸資産の増減額	△54,304	△55,665
営業債務及びその他の債務の増減額	1,914	18,907
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△2,230	△284
その他	279	2,395
小計	71,543	39,182
利息の受取額	731	1,211
配当金の受取額	7,002	5,454
利息の支払額	△2,546	△4,162
法人所得税の支払額又は還付額	△17,313	△21,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,417	19,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△42,915	△44,817
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,294	677
子会社の取得による支出	△1,565	—
投資の取得による支出	△175	△1,377
投資の売却及び償還による収入	35,449	2,785
その他	△2,123	△5,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,035	△47,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入債務の純増減額	△33,047	50,354
社債の発行及び長期借入れによる収入	40,042	30,227
社債の償還及び長期借入金返済	△79,723	△55,250
リース負債の返済による支出	△5,750	△5,815
親会社の所有者への配当金の支払額	△7,214	△12,807
非支配持分への配当金の支払額	△2,478	△3,541
その他	△2	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,172	3,141
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,199	20,809
現金及び現金同等物の増減額	△37,591	△4,006
現金及び現金同等物の期首残高	236,354	230,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	198,763	226,349

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの売上収益	401,516	444,493	98,947	85,894	25,091	7,037	1,062,978	—	1,062,978
セグメント間売上収益	643	8,768	331	18,571	—	13,088	41,401	△41,401	—
計	402,159	453,261	99,278	104,465	25,091	20,125	1,104,379	△41,401	1,062,978
事業利益(△損失)	24,333	52,245	△3,623	6,086	1,112	743	80,896	△10,720	70,176

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△10,720百万円には、セグメント間取引消去532百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,252百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの売上収益	509,034	473,304	139,986	106,052	25,873	7,545	1,261,794	—	1,261,794
セグメント間売上収益	717	11,712	334	17,074	—	13,413	43,250	△43,250	—
計	509,751	485,016	140,320	123,126	25,873	20,958	1,305,044	△43,250	1,261,794
事業利益	23,885	25,080	5,592	8,267	345	1,030	64,199	△9,778	54,421

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△9,778百万円には、セグメント間取引消去395百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,173百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。事業利益と営業利益の関係は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
事業利益	70,176	54,421
固定資産売却益	460	201
子会社の支配喪失に伴う利益	—	25,066
固定資産処分損	△1,395	△1,422
減損損失	△279	△1,062
製品保証費用(注)1	—	△3,452
その他	—	45
営業利益	68,962	73,797

(注) 1. 製品保証費用には、「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性のあるものについて、その交換、補修等のために今後必要と見込まれる費用を計上しております。

2. 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。

#### (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。